

平成23年度経済局2月補正予算概要について

1 企業立地促進条例による助成事業の減額補正について

【8款1項2目誘致推進費】

- 1 企業誘致促進事業（企業立地促進条例による助成事業） △78,691 千円

(単位 千円)

	補正前の額	補正額	計
企業誘致促進事業	2,419,011	△78,691	2,340,320

(1) 事業内容

市民雇用の増大及び市内企業の事業機会の拡大を図り、横浜経済の活性化を促進するため、企業立地等促進特定地域において、立地した企業に対して、助成金を交付します。

(2) 補正理由

これまでに認定した事業計画について、投下資本額の確定等に伴い助成金交付総額が減少したため、助成金を減額します。

2 市場大橋撤去事業について

(1) 施設概要

- ・全 長 424m 標準幅員 6.8m
- ・主な工事経歴 昭和44年 3月 竣工 (ポートサイド地区～水産棟2階駐車場間。 築 43年)
昭和61年 7月 改修工事 (2階駐車場から1階へのアプローチ通路を設置)
平成20年12月 耐震落橋防止工事 (JR貨物線を跨ぐ橋脚間の橋桁)

(2) 震災後から現在までの経過

- 平成23年 3月 東日本大震災発生、目視点検実施
JR貨物線上部橋桁連結部分で段差(5cm)や伸縮装置の伸びを発見し、通行止め
- 平成23年 4月 専門業者に委託し、詳細調査を開始
JR貨物線上部の橋桁が損傷し、大きな地震で落下する恐れがあるとの報告を受け
東日本旅客鉄道(株)と協議開始
- 平成23年 9月 東日本旅客鉄道(株)に委託し、詳細な調査を開始
- 平成23年12月 工法、工事費が確定

- (3) 事業費 JR貨物線上部橋桁撤去 259,631千円
(工期 約12か月のため繰越明許費を設定します。 明許設定額 260,000千円)



3 原発事故等の影響に伴う横浜市中心と畜場費会計の補正について

(1) 入荷頭数の減少及び卸売価格の下落による使用料減収

平成23年度実績(4～12月)

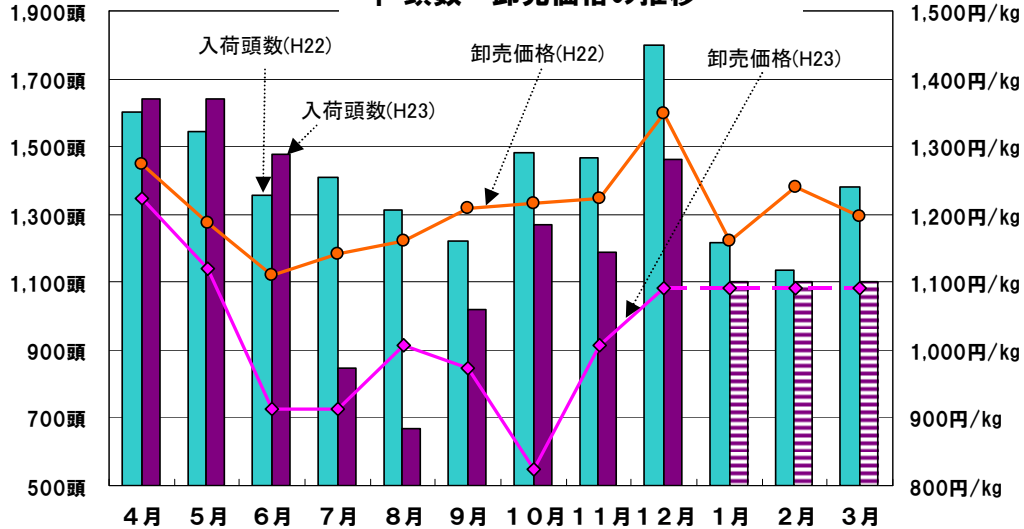
		H23.4-12月	H22.4-12月	増減	前年比
豚	入荷頭数	101,682頭	97,709頭	3,973頭	4.1%
	卸売価格	440円/kg	437円/kg	3円/kg	0.7%
牛	入荷頭数	11,203頭	13,194頭	▲1,991頭	▲15.1%
	卸売価格	1,027円/kg	1,214円/kg	▲187円/kg	▲15.4%
総取扱金額		92.5億円	114.7億円	▲22.2億円	▲19.4%

頭数・価格は生体入荷分
(牛は子牛を除く)

【入荷頭数】

牛 頭数・卸売価格の推移

【卸売価格】

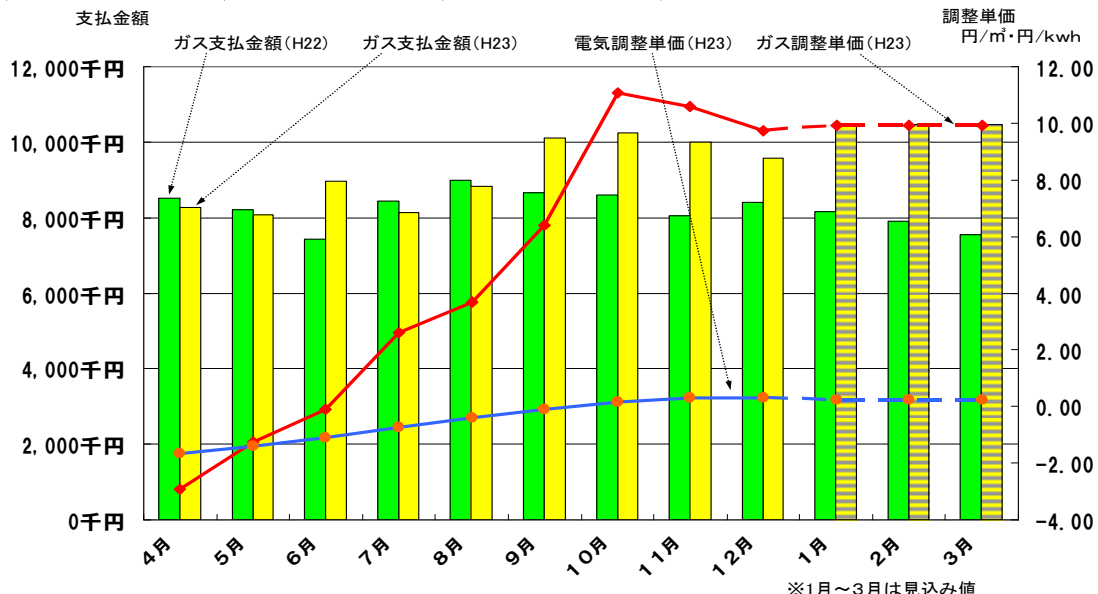


※頭数・卸売価格は成牛生体の入荷分 ※1月～3月は見込み値

使用料当初予算額	使用料収入見込額	減収額 (当初予算比)
246,849千円	204,203千円	▲42,646千円 (▲17%)

(2) 光熱水費の推移

	前年同期比 (4～12月実績)	
	使用量	支払額
電気	82%	99%
ガス	99%	110%



※1月～3月は見込み値

光熱水費当初予算額	光熱水費実績見込額	不足額
430,808千円	446,776千円	▲15,968千円